

		専門課程			創造学習課程			学科独自の課外活動	
カテゴリ(大分類)	インテリジェンス	テクニカルスキル	クリエイション・プレゼンテーション	キャリア	基礎教養科目群	キャリア創出科目群			
カテゴリ(小分類)	事象を感じ捉える	技術から智慧に至る	構想を具現化する	世界を理解する	芸術教養/表現基礎/学習基礎	キャリア/プロジェクト/語学/資格			
4年	客観的な学びが不完全なことから起こる自己中心性を排し、社会や世界を見据えた、時代に訴求する表現力を身につける。より深く学ぶ意欲を持つ者は、大学院進学をめざす。			(構想を具現化する) 創造表現XIB 「卒業制作2」 【a(油画)/b(版画)】 展示プレゼンテーション研究2-表現と発信、場と形式(展覧会運営、ポートフォリオと展示計画作品発表)				外部評価研究 アートフェア研究 アートセンター研究	
				(構想を具現化する) 卒業研究・制作 「卒業制作1」 【a(油画)】 ・Step3:制作～展示 展示プレゼンテーション研究1-私にとっての絵画制作とは、将来設計 【b(版画)】 ・卒業制作の再検証(卒制プランの再検証(ゼミ講評制)を見せること)					
				(構想を具現化する) 創造表現XIB 「卒業制作テーマ3」 【a(油画)】 ・Step2: 卒制 【b(版画)】 ・版画 卒制プラン作成・エディンション制作					
				(構想を具現化する) 創造表現XIB 【a(油画)】 「卒業制作テーマ2」 ・制作(言語化、マテリアル研究) 【b(版画)】 ・仮説と検証2: テーマの明確化					
				(構想を具現化する) 創造表現XIB 「卒業制作テーマ1」 【a(油画)】 ・Step1: 制作(卒制までの展望とプラン作成) 【b(版画)】 ・仮説と検証1: テーマを絞り下げる					
3年	習得した基幹技術を展開するため、歴史、理論、作家研究を徹底して行う。また流動化する社会や世界に対応する表現者となるため、プレゼンテーションとコミュニケーションの力をインターシップや展覧会企画を通じて学ぶ。				(世界を理解する) 創造表現XIB 「キャリア授業6」 ・Digital Skill 7 ポートフォリオ ・企業研究、履歴書の書き方 ・進路計画書作成			白熱講義 オープンスタジオ ウルトラプロジェクト	
			(技術から智慧に至る) 創造表現VII B 「絵画を表現する3」 ・言語化プレゼンテーション研究(進級制作の検証と4年生に向けて) 【b(版画)】 ・テーマの発見(技法の選択と組み立て)						
			(技術から智慧に至る) 創造表現VII B 【a(油画)】 ・進級制作2(200号大から) 【b(版画)】 ・版画 テーマを探る(版による実験)		(世界を理解する) 工芸各論 専任オムニバス講義				
		(事象を感じ捉える) 表現研究IV 染織材料学	2	(技術から智慧に至る) 創造表現VII B 「絵画を表現する1」 【a(油画)】 ・進級制作1(100号大) 【b(版画)】 ・版の応用(シルク、写真製版)					
		(事象を感じ捉える) 表現研究III 芸術と写真	2			(世界を理解する) 創造表現IV B 「キャリア授業5」 【a(油画)/b(版画)】 ・My Archieve(私はこんな人です) ・Digital Skill 5 展覧会企画 ・Digital Skill 6 展覧会企画			
		(事象を感じ捉える) 表現研究II B 平面材料学	2	(技術から智慧に至る) 創造表現III B 「絵画を創る3」 【a(油画)】 ・表現形式研究(メディア、支持体、マテリアル研究) ・前期講評会 【b(版画)】 ・版の構造とレイヤー(木版多色)					
		(事象を感じ捉える) 表現研究II A 平面材料学	2	(技術から智慧に至る) 創造表現II B 「絵画を創る2」 【a(油画)】 ・美術史研究(美術史や社会との接点を探る) 【b(版画)】 ・版の形式と技法(凹版、平版)		(世界を理解する) 美術各論 専任オムニバス講義			
		(事象を感じ捉える) 表現研究I 立体材料学	2	(技術から智慧に至る) 創造表現I B 「絵画を創る1」 【a(油画)】 ・テーマ研究(キーワード、モチーフを探る) 【b(版画)】 ・版の原理を知る(凹凸版技法)		ソーシャル・アート演習 (社会実装科目) 社会の様々な場所で、美術工芸学科の専門性を行かした実践活動をする。	(表現基礎) ビジネスソフト基礎		2
2年	多角的にテーマを変えつつ、基幹技術を完全に身体化するよう体系的な訓練と科学的プログラムを引き続き用意し、後期から学科キャリア授業として国語力の強化と、学科独自の教養教育を実施する。				(世界を理解する) 創造演習VII B 「進級制作」 ゼミ選択オリエンテーション			オープンスタジオ ウルトラプロジェクト	
			(技術から智慧に至る) 創造演習VII B 「選択授業」 ・コンセプトアート ・版画(版の材料と色彩)						
		(事象を感じ捉える) 図学 図としての空間表現	2	(技術から智慧に至る) 創造演習VI B 「ドローイングとは何か」 ドローイング実習(表現形式、材料、支持体研究)/版画総合					
		(事象を感じ捉える) 美術工芸史IV 彫刻史	2			(世界を理解する) 創造演習IV B 「キャリア授業3」 自分未だ地図・アーカイブ更新(作家と素材研究)、基礎デッサンIII、Digital Skill 3			
		(事象を感じ捉える) 美術工芸史III 工芸史	2	(技術から智慧に至る) 創造演習III B 「抽象とは何か」 抽象絵画とは					
		(事象を感じ捉える) 美術工芸史II 絵画史	2	(技術から智慧に至る) 創造演習II B 「イメージとは何か」 具象絵画とは[人物油彩]		(世界を理解する) コンピュータ演習A(教職学生向け)adobeソフトの基本操作			2
		(事象を感じ捉える) 美術工芸史I 現代美術史	2	(技術から智慧に至る) 創造演習I B 「作家とは何か」 制作方法・作家研究/教員プレゼン、図書館利用法		(世界を理解する) コンピュータ演習B(教職学生向け)adobeソフトの基本操作			2

1年

絵がかけない、作れない学生が半数を超えることを前提とし、基礎教育に徒弟制度の厳しさを導入する。基幹技術を科学的アプローチと量のトレーニングによって、会得する。

(事象を感じ捉える) 美術概論 I 美術概論	2			(世界を理解する) 創造基礎ⅥB 「キャリア授業2」 基礎デッサン1、ロールモデル 研究、Digital Skill 2	2	(表現基礎) 表現ソフト基礎	2	
(事象を感じ捉える) 美術概論 I 美術概論	2	(技術から智慧に至る) 創造基礎ⅥB 「絵とは何か」 進級制作/1年次の学びから 主体的に制作	2					語学科目群 2
(事象を感じ捉える) 工芸概論 I 工芸概論	2	(技術から智慧に至る) 創造基礎ⅥB 「取材と編集-風景から」 近代絵画研究2(風景と取 材)/支持体3・油彩	2					
(事象を感じ捉える) 工芸概論 I 工芸概論	2	(技術から智慧に至る) 創造基礎ⅥB 「なぜ人を描くのか」 近代絵画研究1(人体)/ デッサン・解剖学・油彩、 色彩を感じる・発見する2	2					
				(世界を理解する) 創造基礎ⅥB 「キャリア授業1」 ・就学素養 ・油面論(専任プレゼン) ・基礎デッサン1 ・Digital Skill 1	2			
		(技術から智慧に至る) 創造基礎ⅥB 古典絵画研究(自画像)/ 支持体1・2、銀筆素描、グ リザイユ・グラッサン	2			総合基礎科目群		
		(技術から智慧に至る) 創造基礎ⅥBファンデーション/ 大胆に描く(木炭)・細 密に描く(銅版画)	2			(総合基礎) グループワークショップ	6	
		(技術から智慧に至る) 創造基礎ⅥB 「描くとは(静物)」 観察と描写、 ものの存在と絵について、 色彩を感じる・発見する	2			(総合基礎) コミュニケーションペー ジック	6	

